

# 都市づくりの ランドデザイン

— 東京の未来を創ろう —

The Grand Design for

Urban Development





## 「都市づくりのグランドデザイン」の策定にあたって

人口や経済が右肩上がりであった時代が終焉<sup>えん</sup>を迎え、未来が不確実さを増している今、従来の発想にとらわれていては、躍動感あふれる東京を創り出すことはできません。

成長を加速するチャンスをつかむため、将来を見据えた長期的な視点を持ち、新たな工夫を加えながら、今、なすべきことをなす。これこそが都民一人ひとりの希望にあふれる未来を切り開くことにつながります。



これまでどの都市も経験したことのない少子高齢・人口減少社会となる2040年代に向けては、比類なき速さで進展が見込まれる人工知能（AI）や自動運転など多くの先端技術も駆使して、環境への配慮（Environment）、社会への貢献（Social）、都市のマネジメント（Governance）、いわゆる「ESG」の概念も取り入れた都市づくりを進めることが重要です。ゼロエミッション東京を目指し、地球環境との調和を図りながら、東京を世界中から選ばれる高度に成熟した都市、「新しい東京」へと生まれ変わらせ、持続的に発展させていきます。

世界をリードする国際ビジネス拠点の育成、三環状道路や鉄道などを更に充実させた上でのインフラの最大限の活用、燃えない・倒れないまちづくりの加速化、美しい緑と水に彩られた都市空間の創出、多様なライフスタイルを受け入れ誰もが健やかに暮らせる場の提供など、「セーフシティ」「ダイバーシティ」「スマートシティ」実現の礎となる都市づくりを進めていきます。

2040年代は、戦後100年の節目を迎えるとともに、東京2020大会を小学生・中学生・高校生として迎える世代が社会の中心を担う時代です。

私たちには、明るい未来に向けて活力を高め、誰もが能力を発揮し活躍できる、より良い都市を創り、次世代へ確実に引き継ぐ責務があります。

この「都市づくりのグランドデザイン」では、未来の東京を創るための「種」を蒔きました。都民の皆様と共に新たな一歩を踏み出し、常に成長を続ける都市を育てていきたいと思っております。

平成 29（2017）年9月

東京都知事

小池百合子





# CONTENTS

## 第1章

### 都市づくりのランドデザインの役割……………4

- 01 位置付け……………5
- 02 目標時期……………5

## 第2章

### 2040年代の社会状況や都民の活動イメージ ……6

- 01 東京の人口予測……………8
- 02 社会状況や技術革新の見込み……………10
- 03 2040年代における都民の活動イメージ……………13

## 第3章

### 東京が果たすべき役割……………18

- 01 世界における役割……………20
- 02 日本における役割……………21

## 第4章

### 目指すべき新しい都市像……………22

- 01 都市づくりの目標……………24
- 02 目指すべき都市構造……………26
- 03 新たな地域区分……………34

## 第5章

### 都市づくりの戦略と具体的な取組……………40

- 01 都市づくりの7つの戦略……………42
- 02 7つの戦略に沿った具体的な取組……………74

## 第6章

### 個別の拠点や地域の将来像……………154

- 01 中枢広域拠点域……………156
- 02 新都市生活創造域……………168
- 03 多摩広域拠点域……………174
- 04 自然環境共生域……………178

## 第7章

### 2040年代の将来像の実現に向けて……………180

- 01 様々な主体の参画・連携による都市づくり……………182
- 02 計画や方針の策定等による政策誘導型の都市づくり……………184
- 03 分野横断の考えに基づくプロジェクト型の都市づくり……………186
- 04 未来を担う次世代に引き継ぐ……………186

### 参考資料……………188

本文中において、特に解説が必要な語句は、末尾に「※」を付していますので、用語解説(P.193～207)を参照してください。